

クロチアニジン粒剤 ダントツ粒剤	取扱メーカー： 協友アグリ，サンケイ*，住友化学 原体メーカー： 住友化学
成分： クロチアニジン〔ネオニコチノイド系〕……………0.50%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 幅広い殺虫スペクトラムを有する。
- 有機リン・カーバメート・合成ピレスロイド系薬剤に対する感受性が低下した害虫にも高い効果を発揮する。
- 浸透移行性に優れるので，根から吸収された有効成分が，作物全体に移行する。
- 植穴処理でも株元散布でも高い防除効果を示し，効果が長期間持続する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- きゅうり，メロン，トマト，ミニトマト，ピーマン，なすについては，育苗期後半（トマト，ミニトマトは育苗期）から収穫前日まで使用できる。
- きく，ばらについては，生育期の株元に所定量を散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 本剤を稲（箱育苗）に使用する場合は次の注意を守る。
 - 稲（箱育苗）に使用する場合，育苗箱の上から均一に散布し，葉に付着した薬剤を払い落とし，そのまま田植機にかけて移植する。
 - 軟弱徒長苗，ムレ苗，移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意する。
 - 誤って過剰に使用したり，本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので，所定の使用量，使用時期，使用方法を厳守する。
 - 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので，代かきは丁寧に行い，移植後田面が露

出したりしないように注意する。移植後は直ちに入水し，水深2～3cm程度を保ち浅水はさける。

- キャベツ，はくさい，かぶ，こまつな，チンゲンサイに使用する場合は，薬害が生じるおそれがあるので使用量を厳守する。
- キャベツ，はくさいのは種時に使用する場合は，薬害が生じる場合があるので覆土後に使用し，覆土前の使用はさける。

【安全対策上の注意】……………

- 無人航空機散布の際は，共通注意事項の2．空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 共通注意事項7．ミツバチに対する注意事項を参照。
- マルハナバチを利用する場合，本剤使用後20日目頃より後に導入する。但し，影響日数は環境条件により多少変動する場合があるので注意する。
- 薬剤を株単位で使用する場合には，10a当たり25kgを超えないように適用の範囲内で単回使用量を調整する。
- 水稻の本田（3cm前後の湛水とする）及びくわい，れんこんに使用する場合，田面に均一に散布し散布後4～5日間は湛水状態を保ち，散布後7日間は落水，かけ流しはしない。
- かんぎつに使用する場合は，今期に収穫の見込みのない苗木に使用し，散布後軽く散水する。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ	3 kg	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (直播では種 時又は移植時ま での処理は1回 以内、本田での 散布、空中散 布、無人航空機 散布は合計3回 以内)
	カメムシ類	3～4 kg				
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30× 60×3cm, 使用土壌 約5ℓ) 1箱 当り 50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の苗 の上から均 一に散布す る。	4回以内 (移植時までの 処理は1回以 内、本田での散 布、空中散布、 無人航空機散 布は合計3回以 内)
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	1～2g/ 株	育苗期後半		株元処理	4回以内 (育苗期の株元 処理及び定植時 の土壌混和は合 計1回以内、散 布及び定植後の 株元散布は合計 3回以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	2g/ 株	定植時	3回以内	植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類		定植後 但し、収穫 前日まで		株元散布	4回以内 (定植時の土壌 混和は1回以 内、散布は 3回以内)
かぼちゃ にがうり				1回	植穴処理 土壌混和	1回
す い か	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ					
う り 類 (漬物用、 但し、 とうがん、 食用へちま を除く)	アブラムシ類	1～2g/ 株	定植時			
とうがん 食用へちま						
メ ロ ン			育苗期後半	3回以内	株元処理	4回以内 (育苗期の株元 処理及び定植時 の土壌混和は 合計1回以内、 散布及び定植後 の株元散布は 合計3回以内)
	コナジラミ類				植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2g/ 株	定植時	3回以内	株元散布	
	アブラムシ類	1～2g/ 株	定植後 但し、収穫 前日まで			

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含 む農薬の総使用回数	
なす	アブラムシ類	1 ～ 2g/ 株	育苗期後半	1 回	株元処理	4 回以内 (育苗期の株元 処理及び定植時 の土壌混和は 合計 1 回以内、 散布及び定植後 の株元散布は 合計 3 回以内)	
	コナジラミ類	1g/ 株	定植時		植穴処理 土壌混和		
	マメハモグリバエ アブラムシ類 コナジラミ類			3 回以内	株元散布		
	アブラムシ類	1 ～ 2g/ 株	定植後 但し、収穫 前日まで		株元散布		
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/ 株	育苗期	1 回	株元処理		
	アザミウマ類	育苗期後半	植穴処理 土壌混和				
	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類	1 ～ 2g/ 株	定植時	3 回以内	株元散布		
		1 ～ 2g/ 株	定植後 但し、収穫 前日まで				
	ピーマン	アブラムシ類	1g/ 株	育苗期後半	1 回	株元処理	
定植時			植穴処理 土壌混和				
			1 ～ 2g/ 株	定植後 但し、収穫 前日まで	2 回以内	株元散布	
キャベツ	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g/ 株	は種時	1 回	覆土後セル 成型育苗ト レイ又はペ ーパーポッ トの上から 散布する。	3 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の散 布は 2 回以内)	
	アブラムシ類 ネギアザミウマ	3 ～ 6 kg			播溝処理 土壌混和		
		6 kg	地床育苗期		株元散布		
	アブラムシ類 ネギアザミウマ コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	セル成型育苗ト レイ 1 箱 又はペーパー ポット 1 冊 (30×60cm、使 用土壌約 1.5 ～ 4 ℓ) 当り 50g	育苗期後半		セル成型育 苗トレイ又 はペーパー ポットの上 から散布す る。		
	ネキリムシ類 コナガ アオムシ アブラムシ類 ネギアザミウマ ハイマダラノメイガ	0.5g/ 株			株元処理		
	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ コナガ アオムシ	1 ～ 2g/ 株	定植時		植穴処理 土壌混和		
		2g/ 株					

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含 む農薬の総使用回数
はくさい	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g/ 株	は種時	1 回	覆土後セル 成型育苗ト レイ又はペ ーパーポッ トの上から 散布する。	3 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の散 布は 2 回以内)
	アブラムシ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類	0.5g/ 株	育苗期後半		株元処理	
	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	1～2g/ 株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	コナガ アオムシ	2g/ 株				
ブロッコリー	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g/ 株	は種時		セル成型育 苗トレイ又 はペーパー ポットの覆 土に均一に 混和する。	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の散 布は 3 回以内)
	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.5g/ 株	育苗期後半		株元処理	
	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ	セル成型育苗 トレイ 1 箱又は ペーパー ポット 1 冊 (30×60cm, 使 用土壌約 1.5～ 4 ℓ) 当り 50g			セル成型育 苗トレイ又 はペーパー ポットの上 から散布す る。	
	アブラムシ類	1～2g/ 株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	2g/ 株				
はなっこりー	アブラムシ類	6 kg	は種時		作条処理 土壌混和	3 回以内 (定植時の土壌 混和は 1 回以 内、散布は 2 回 以内)
だいこん		3～6 kg			播溝処理 土壌混和	3 回以内 (は種時の土壌 混和は 1 回以 内、は種後は 2 回以内)

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含 む農薬の総使用回数
かぶ こまつな ほうれんそう	アブラムシ類	6 kg	は種時	1 回	播溝処理 土壌混和	4 回以内 (は種時の土壌 混和は 1 回 以内, 散布は 3 回以内)
しゅんぎく	ハモグリバエ類					3 回以内
だいず	アブラムシ類 フタスジヒメハムシ					
みずな	アブラムシ類	1 ～ 2g/ 株	定植時		植穴処理 土壌混和	
なばな						
チンゲンサイ		6 kg	は種時		播溝処理 土壌混和	4 回以内 (は種時及び定 植時の土壌混和 は合計 1 回 以内, 散布は 3 回以内)
			定植時		作条処理 土壌混和	
レタス		セル成型育苗 トレイ 1 箱又 はペーパー ポット 1 冊 (30×60cm, 使用土壌 約 1.5 ～ 4 ℓ) 当り 50g	育苗期後半		セル成型育 苗トレイ又 はペーパー ポットの上 から散布す る。	3 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内, 定植後の散布は 2 回以内)
非結球レタス		0.5g/ 株			株元処理	3 回以内 (育苗期の株元 処理は 1 回 以内, 散布は 2 回以内)
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	6 kg	は種時	4 回以内	作条処理 土壌混和	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内)
	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ タネバエ		植付時		植溝処理 土壌混和	
あざつき わけぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	3 ～ 6 kg	収穫 3 日前 まで		株元散布	4 回以内
らっきょう	ネギアザミウマ ネダニ類	6 kg	収穫 21 日 前まで	2 回以内		2 回以内
くわい	アブラムシ類		3 ～ 6 kg	収穫 7 日前 まで	3 回以内	湛水散布
ばれいしょ		植付時		1 回	植溝処理 土壌混和	4 回以内 (植付時の土壌 混和は 1 回 以内, 植付後 は 3 回以内)

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含 む農薬の総使用回数	
かんしょ	コガネムシ類 トビイロヒョウタンゾウムシ	6～9kg	植付前	1回	作条処理 土壌混和	3回以内 (植付前の処理 は1回以内、植 付後は2回以内)	
	コガネムシ類				全面処理 土壌混和		
	アブラムシ類	6kg	育苗期		株元処理		
やまのいも	コガネムシ類	6～9kg	植付時		1回	作条処理 土壌混和	4回以内 (植付時までの 処理は1回以 内、植付後は3 回以内)
いちご	アブラムシ類	1g/ 株	定植時			植穴処理 土壌混和	1回 4回以内 (定植時の土壌 混和は1回 以内、散布は 3回以内)
セルリー		2g/ 株					
れんこん	クワイイクビレアブラムシ	3kg	植付時	3回以内	植溝処理 土壌混和	4回以内 (植付時までの 処理は1回以 内、植付後は3 回以内)	
		4～6kg	収穫7日前 まで		湛水散布 無人航空機 による散布		
じゅんさい	トラフユスリカ	4kg	収穫前日 まで	2回以内	湛水散布	2回以内	
さとうきび	ハリガネムシ類	4～6kg	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	7回以内 (植付時までの 処理は1回以内、 植付後の粒剤の 処理は3回以内、 水和剤の処理は 3回以内)	
	メイチュウ類 アオドウガネ	6～9kg		培土時	3回以内		株元処理 土壌混和
	カンシャコバナナガカメムシ シロスジオサゾウムシ		収穫30日 前まで				
	カンシャコバナナガカメムシ						
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	10～20g/ 樹	育苗期	6回以内	生育期 株元散布	3回以内	
げっきつ	ミカンキジラミ	30～40g/ 株	発生初期				4回以内
きく	アブラムシ類	6kg					
		1～2g/ 株					
	マメハモグリバエ アザミウマ類	2g/ 株					
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)	アブラムシ類	6kg					
		1～2g/ 株					
	アザミウマ類	2g/ 株					